



「楽しいサッカー」をモットーに

# 子どもの成長する姿が楽しみ

サッカー一筋・50年

吉田 憲司さん

Q サッカーをはじめ何年か。

A 中学の時からなので、五〇年になる。

高校卒業後、ファイザー製薬に就職して、職場のサッカークラブに入り、当時、川鉄や中電など臨海部の5社のサッカークラブで構成する武豊リーグで仲間たちとサッカーに打ち込んだ。しばらくして子どもたちと一緒にサッカーをやるようになり、いま雨降り以外は毎日練習している。

Q この間、良かったことは。

A ジュビロ磐田に入団した選手を育てたこともうれしうことの一つだが、毎日子どもたちから元気をもらっていること。



Q 子どもたちに期待することは。

A 子どもたちには、技術的な指導も大事だが、精神的な面も重視している。人間的に成長してもらいたいと、常々考えている。

Q 県知事がフットサル・ワールドカップを誘致したいとのことだが。

A 大歓迎。この機会に武豊町がキャンプ地に立候補するとか、大いに盛り上げてほしい。

気軽にサッカーを楽しめるように、校庭開放や広場を造るなど期待している。



楽しく全員参加の防災訓練

# 「やってみよう」身につく防災

馬場区長

石川 達也さん

副区長

榊原 伯明さん

Q 自主防災会の取り組みは、いつから。

A 10年前からはじまったが、本格始動は3年前。子どもを含む全員参加の訓練をめざして、楽しい防災運動会を実施した。

Q その後の避難訓練は。

A 昨年の訓練は、一時避難場所まで行くこと。全員にタイムカードを配布してやってみたら、近くても要援護者がいると時間がかかることが解った。今年は車いすを使って、武豊中学校まで行くことにした。事前に講習を受けて、弱者を先頭にみんなが支えることにし、本番を迎えた。下りの坂道が大変なことが解った。

だから、やってみることが大事。

近所に、〇〇おばあちゃん、足の不自由な〇〇さんがいる。みんな家族だから助けたい。長野県北部地震では、みんな助かった。やっぱり、隣組の絆が大事。



■10月25日 町防災訓練での取り組み